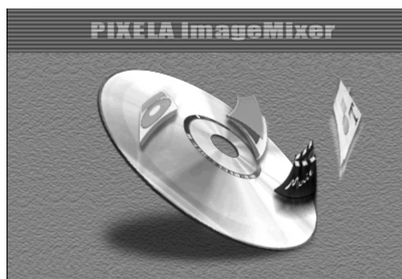
Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

ソフトウェア取扱説明書

フォト・ナビゲーター
PIXELA ImageMixer





準備と読込
Windows®

再生と加工
Windows®

基本
Macintosh

活用
Windows® & Macintosh

その他

お買い上げありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
必ず本書の「ソフトウェア使用許諾書」をお読みください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
ビデオカメラの取り扱いについては、ビデオカメラの取扱説明書をお読みください。
パソコンの取り扱いについては、パソコン付属の取扱説明書をお読みください。

LYT1004-002C

目次

基本 (Macintosh)

活用 (Windows® & Macintosh)

その他

はじめに

本書の読み方

本書は次の 4 つの章と「その他」に分かれています。

■ 1 章　準備と読込（Windows®）
USB（Universal Serial Bus）ケーブルを使ってビデオカメラとパソコンを接続し、ファイルをパソコンへコピーする方法について説明します。また付属のフォト・ナビゲーターのアルバムに静止画を読み込む方法についても説明します。

■ 2 章　再生と加工（Windows®）
フォト・ナビゲーターを使って静止画を加工する方法を説明します。メールで静止画を送ったり、アルバムを Web ページとして保存することができます。

■ 3 章　基本（Macintosh）
USB ケーブルを使ってビデオカメラと Macintosh パソコンを接続し、ファイルをパソコンにコピーする方法について説明します。

■ 4 章　活用（Windows® & Macintosh）
付属の ImageMixer を紹介します。ImageMixer は、静止画の取り込みとアルバム作成のほか、色や明るさの調整、USB ケーブルや DV ケーブルを使った動画の取り込みなど、さまざまな機能を持つソフトウェアです。詳しくは ImageMixer のオンラインヘルプをご覧ください。

■その他
付属の CD-ROM にある効果音をビデオカメラで使う方法について説明します。また付属のソフトウェアが正常に動作しない場合の対処方法とサポートについて記載しています。

記号の意味

本文には、次の記号が使われています。



操作上の注意などが書かれています。



使用上の制限や、知っていると便利な内容が書かれています。


使用中に起こりうるトラブルや、トラブルのように見える現象について書かれています。


関連するページを示しています。



次のページに説明が続きます。

著作権について

あなたが付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽CDをBGMとするムービーを編集する場合は、音楽CDの複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

- Microsoft、Windows®、NetMeeting、HotMail、MSN、DirectX、Messengerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、iBook、Mac OS、QuickTimeは、米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Pentiumは、米国Intel Corporationの登録商標です。
- Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
- iMacは、米国Apple Computer,Inc.の米国およびその他の国における商標です。
- iVisitは、米国Eyematic Interfaces, Inc.の米国およびその他の国における商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

こんなこともできます

気に入った作品はメールで送りましょう

せっかく撮影した映像がカセットテープやメモリーカードのなかで眠っていませんか？

素敵な場面を撮影できても、テレビにつないで鑑賞するのでは観客は家族とお客様だけです。遠くに住んでいる親戚や友人たちには観てもらえません。大切な作品が入ったカセットテープやメモリーカードですから、譲ってしまうわけにはゆきません。

そんな悩みはパソコンで解決できます。USB ケーブルで接続すると、ビデオカメラにある映像をパソコンにコピーできます（☞P.18、48、57）。あとはメールに添付するだけで、あなたの作品をみんなに届けることができます（☞P.33）。

私のパソコンでもできるでしょうか？

USB 端子のあるパソコンならまず大丈夫です（☞P.12、44）。

映像データは大容量なのでメールに向かないのでは？

ビデオ映像の場合は、ビデオカメラの機能を使ってメモリーカードにコピーすると小さなファイルになります。静止画の場合は、付属のソフトウェアでファイルサイズを変更できます（☞P.36）。

アルバムに貼って閲覧しましょう

よく似たファイル名ばかりで、どのファイルがどんな画像だったのか判らなくなってはいませんか？

付属のソフトウェアを使うと、アルバムに写真を貼るようにパソコンで画像を一覧表示できます（☞P.20、60）。アルバムをめくるように鑑賞できるので、メールで送りたい画像を探すときなどに役立ちます。

アルバムのコピーを配布できますか？

Web ページの形式でアルバムを保存できます（☞P.34）。この形式なら、Web ブラウザがあれば誰でも、どんなパソコンでもアルバムを閲覧できます。ホームページにアップロードして、インターネットであなたの写真展を開くこともできます。
なお、著作権法により、権利者に無断で画像を配布することは禁じられています。配布できる画像であることを、あらかじめご確認ください。

その他の活用方法

あなただけのムービーを編集できます

パソコンに読み込んだ動画や静止画を加工したり、並べ替えたりして、あなただけのオリジナル・ムービーを編集できます（☞P.61）。ビデオカメラで撮影し、パソコンで編集する。これであなたも映画監督です。
完成した作品は、パソコンで再生するほか、メールで送ったり、インターネットで上映できます。

テレビカメラ付きのパソコンになります

あなたのパソコンのテレビカメラとして、ビデオカメラを活用できます。
たとえば、ビデオを撮影するときに、カセットテープの代わりにパソコンに録画できます（☞P.54）。また、Windows® NetMeeting などと組み合わせて、インターネット TV 電話を楽しむことができます（☞P.64）。（Windows® NetMeeting でインターネット TV 電話を行うには、MSN Messenger と Microsoft HotMail への登録が必要です。）

ビクター ソフトウェア使用許諾書

重 要 お客様へ …ご使用になる前に必ずお読みください

このたびは本製品をご購入いただきありがとうございます。本製品に付属するソフトウェアは、以下に定める条件に同意いただくことが使用の条件になりますので、ご使用前に本ソフトウェア使用許諾書を熟読していただき、ソフトウェアが収められている媒体（メディア）を開封してください。

したがいまして、お客様がメディアを開封した時点で同意がなされたものとみなされます。（ご同意いただけないお客様は、開封せずに本製品をご購入先までご返却ください。）

また、添付の「ご愛読者カード」に必要事項を記入の上、ご返送願います。なお、「ご愛読者カード」の返送がない場合は、バージョンアップ情報などのサービスやサポートがお受けになれない場合もございます。

本使用許諾書は、必ず保管してください。

ソフトウェア使用許諾書

第一条　権利

お客様は、本ソフトウェア（同梱のメディアやマニュアルなどに記録または記載された情報の事を言います。）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。また本ソフトウェアは一台のコンピュータシステムにインストールしてのみ使用することができます。

第二条　第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡、あるいは使用させることはできません。

第三条　コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは一部に限り、保管（バックアップ）の目的のために作成することができます。

第四条　解析、変更および改造の禁止

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じても弊社および販売店等は責任を負いません。

第五条　保証の範囲

お客様が本製品を購入された日から 30 日間に限り、メディアなどに物理的な欠陥があった場合には無料で交換いたします。また、弊社は本ソフトウェアの性能または特定の目的への適合性については、何ら保証もいたしません。「ご愛用者カード」を返送されたお客様に対しては、別記の「サービス・サポートに関するお知らせ」にあるサービス・サポートを提供いたします。

第六条　免責

本ソフトウェアのご使用に当たり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店等はその責任を負いません。

日本ビクター株式会社
ホーム AV ネットワークビジネスユニット

サービス・サポートに関するお知らせ

弊社はお客様に対し、「ご愛用者カード」が弊社に到着し、ユーザー登録が完了した時点から、以下に記載するサービスおよびサポートを開始いたします。

①サービス内容
- メディア交換（有償交換とします。）
- 保存用ディスクの交換（有償交換とします。）
- 新製品購入サービス（弊社が別途指定する新製品への交換購入サービス。）

②サポート内容
- お客様が日本国内で弊社指定のコンピュータシステム環境で使用中にその操作方法について、ご自身で解決できないような問題が生じた場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせください。使用方法の改良についてのご相談あるいは修補、交換について必要な情報をお知らせいたします。

③サービスおよびサポートにかかわる料金について
- 本ソフトウェアのサービスおよびサポートに関する料金または有償・無償の決定は弊社に帰属します。

ピクセラ ImageMixer 使用許諾書

重 要　お客様へ　…ご使用になる前に必ずお読みください

　お客様は、この使用許諾契約書（以下、本契約）の下記使用条件にしたがって、ソフトウェアプログラム（以下、本プログラム）ならびに取扱説明書等の付属物を使用する譲渡不能な非独占的権利を、株式会社ピクセラより許諾されます。

許諾事項

・本プログラムは、日本国内でのみ、また、同時に一台のコンピュータのみで使用できます。

禁止事項

・本プログラムをネットワーク上で使用することはできません。ネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合は、別途株式会社ピクセラから各コンピュータ毎の使用権を取得することが必要です。
・お客様は、本プログラムを再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。
・お客様は、本プログラムの全部または一部を修正、改変、逆コンパイルまたは逆アセンブリすることはできません。または第三者にこのような行為をさせてはなりません。

契約の終了

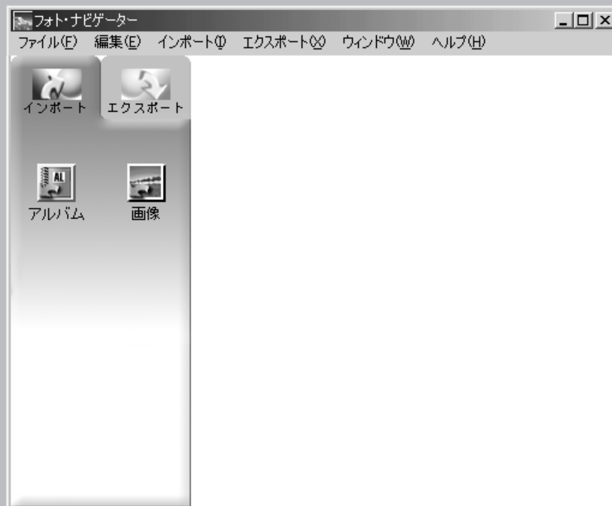
　お客様が、本プログラムまたは付属物を許可なく複製したり、上記許諾条件に違反した場合には、本契約は自動的に終了するほか、株式会社ピクセラにより他の法的な救済措置がとられることがあります。契約終了の場合、お客様は、本プログラム、付属物、複製物一切を破棄または株式会社ピクセラに返還するものとします。

保証と免責

　本プログラムおよび付属物は、明示黙示を問わず、商品性、お客様の特定の使用目的への適合性と合致するものではありません。
　また、株式会社ピクセラは、本プログラムの機能がお客様の要求と合致すること、あるいは本プログラムの作動や中断やエラーのないことを保証するものではありません。
　株式会社ピクセラは、本プログラムの使用に付随または関連して生じる直接的または間接的な損失、損害などについて、いかなる場合においても、一切責任を負わず、また本プログラムの使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

準備と読込(Windows®)

USB ケーブルを使って、メモリーカードの静止画ファイルや動画ファイルをパソコンのハードディスクにコピーできます。また付属のフォト・ナビゲーターでは、静止画をアルバムのようにまとめて保管・鑑賞することができます。
フォト・ナビゲーターのウインドウに表示されるアイコンは、メニュー内にある機能と同じはたらきをしています。本書では、アイコンをメインにして説明しています。
Windows®をお使いの場合にお読みください。



動作環境

次の条件を満たすパソコンは、USB ケーブルでビデオカメラと接続できます。メモリーカードの効果音ファイルや動画ファイルをハードディスクにコピーしたり、付属のCD-ROM から効果音ファイルをメモリーカードにコピーできます。また付属のフォト・ナビゲーターを使うことができます。

OS	：	Windows® 98 プリインストール版 Windows® 98 Second Edition プリインストール版（以下、98SE） Windows® Millennium Edition プリインストール版（以下、Me） Windows® 2000 Professional プリインストール版 （アップグレードしたパソコンでは動作を保証できません）
CPU	：	Intel MMX® Pentium® 200MHz 以上
RAM	：	64MB 以上を推奨
ハードディスク	：	インストールに約 10MB 以上必要。500MB 以上の空き容量を推奨。
端子	：	USB 端子
ディスプレイ	：	800 × 600 ドット 16bit color が再生可能なこと
その他	：	DirectX 8.0a 以降、Internet Explorer 4 以降

ImageMixer の動作環境

付属の Image Mixer（☞P.51）を使用する際は、上記の条件に加えて下記の条件も満たすパソコンが必要です。

OS	：	上記の条件と同じ。 ただし、USB 接続するときは Windows® 98 は非対応です。 また、IEEE1394 接続するときは Windows® 98, 98SE は非対応です。
CPU	：	Intel Pentium III® 500MHz 以上（快適に使用する場合は 800MHz 以上を推奨） ※USB 接続または IEEE1394 接続から映像を入力するときに必要です。
ハードディスク	：	インストールに約 250MB 以上必要。1GB 以上の空き容量を推奨。
端子	：	IEEE1394(i-LINK)端子



- Windows® XP をお使いの場合は、「Windows® XP で使用するときの注意事項」（☞P.72）をご覧ください。

インストールする

インストールするソフトウェア

「セットアップ」画面では、次のソフトウェアをインストールできます。

USB マスストレージクラスドライバ
ビデオカメラのメモリーカードがパソコンで読み書きできるようになります。（☞ 次ページ）

USB ストリームクラスドライバ
ビデオカメラのテープの代わりにパソコンのハードディスクに録画できるようになります。（☞P.54）
またインターネット TV 電話にビデオカメラを利用できます。（☞P.64）

PIXELA ImageMixer
USB 端子や IEEE1394（i-LINK）端子を使って、ビデオカメラから静止画や動画を取り込み、管理・編集することができるアプリケーションです。（☞P.51）

※インストール後にパソコンを再起動します。

フォト・ナビゲーター
撮影した静止画を集めてアルバムにしたり、それらの静止画をいろいろな形式に変換できるアプリケーションです。（☞P.20）

G.726 デコーダ
動画ファイル（拡張子 asf）の音声がパソコンで再生できるようになります。（☞P.19）

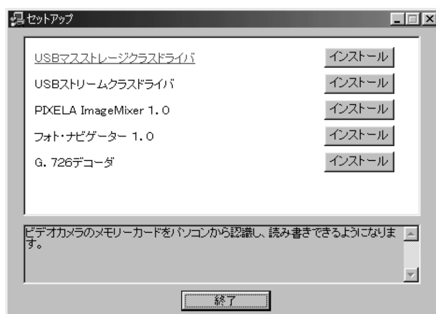
インストールの流れ

次の手順で、ソフトウェアをインストールします。

1 付属のCD-ROMをパソコンにセットする

しばらくすると「セットアップ」が表示されます。

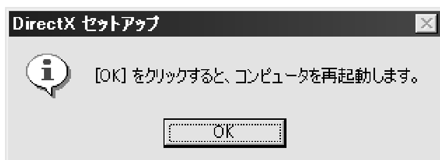
- 「セットアップ」が表示されないときは、「マイコンピュータ」をダブルクリックしてCD-ROMアイコンをダブルクリックします。



2 「インストール」をクリックし、画面の指示にしたがって操作する

3 もし、再起動を求めるメッセージが表示されたときは、「OK」をクリックする

- パソコンが再起動し、しばらくすると手順1の「セットアップ」が表示されます。

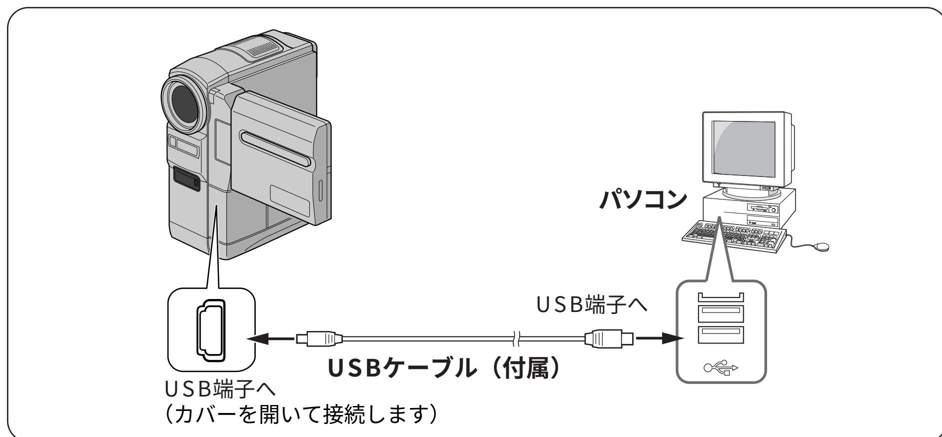


4 手順2〜3を繰り返し、使用するソフトウェアをすべてインストールする



- USBストリームクラスドライバのインストール時に、Windows® 2000で「デジタル署名がありません」という画面が表示される場合があります。使用する上で問題ありませんので、そのままインストールを続けてください。
- USBマスストレージクラスドライバ、およびUSBストリームクラスドライバをインストールする前にビデオカメラをUSBケーブルで接続すると、正常にインストールされず、USBケーブルを使って画像や音声をパソコンに取り込めない場合があります。
  このような場合は、デバイスドライバを更新します。（☞P.69、70）
- すでにインストールされているソフトウェアのインストーラを実行すると、その種類によってはアンインストールを実行します。このような場合は、アンインストール終了後に再びインストールを実行してください。

USB ケーブルで接続する



1 **ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する**

2 **メモリーカードがビデオカメラに入っていることを確認する**

3 **ビデオカメラのビデオ／メモリースイッチを「メモリー」の位置に合わせる**

4 **ビデオカメラの電源ダイヤルを回し、「再生」の位置に合わせる**

ビデオカメラの電源が入ります。

5 **USB ケーブルでパソコンと接続する**

ビデオカメラの液晶画面に「USB モード」と表示されます。

6 **デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする**

ビデオカメラとパソコンが正しく接続されていると、ビデオカメラのメモリーカードを表す「リムーバブルディスク」アイコンが表示されます。



次へ続く

準備と読込（Windows®）

USB ケーブルで接続する

ご注意

- ビデオカメラの液晶画面に「USB 通信中」と表示されている間は、絶対に USB ケーブルを取り外さないでください。



- USB ハブを経由してパソコンに接続すると、ハブとパソコンの相性によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。この場合は、ハブを使用しないでパソコン本体の USB 端子に接続してください。
- USB ケーブルの延長ケーブルは使用しないでください。
- 新たに購入したメモリーカードをご使用になる場合は、あらかじめビデオカメラでメモリーカードを初期化してください。パソコンでファイルをコピーできないことがあります。

メモリーカードの中を見る

メモリーカードには下記のフォルダが自動的に作成されます。ファイルの種類ごとに異なるフォルダに記録されます。



静止画（拡張子 jpg）	：	「DCIM」フォルダの中のフォルダ（☞P.19、P.20）
動画（拡張子 asf）	：	「DCVI」フォルダの中のフォルダ（☞P.19）
効果音（拡張子 mp3）	：	「DCSD」フォルダの中の「100JVCGR」フォルダ（☞P.68）
MISC	：	DPOF 設定データ



- 「MISC」フォルダは DPOF 設定しているときのみ表示されます。DPOF 設定については、ビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

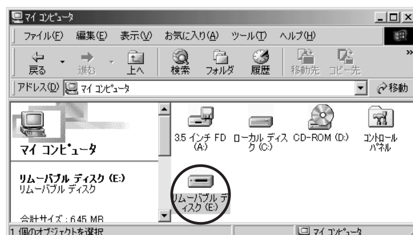
- メモリーカードにビデオカメラで使えないファイルを保存したり、メモリーカードからファイルやフォルダを削除すると、ビデオカメラの動作に支障がでることがあります。ファイルを削除するときは、パソコンではなく、ビデオカメラで操作してください。

画像をパソコンで再生する

メモリーカードに記録された静止画と動画のファイルを、パソコンにコピーして再生することができます。

パソコンにコピーする

1 **「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」アイコンをダブルクリックする**



メモリーカードの中のフォルダが表示されます。（☞ 前ページ）

2 **コピー先のフォルダをダブルクリックして開く**

3 **コピーするフォルダを選び、コピー先のフォルダへドラッグ＆ドロップする**



- 静止画の場合：「DCIM」フォルダの中のフォルダをコピーします。
- 動画の場合：「DCVI」フォルダの中のフォルダをコピーします。

ビデオカメラの液晶画面に「USB通信中」と表示され、メモリーカードからパソコンにフォルダがコピーされます。

ご注意 • 「USB通信中」と表示されている間は、絶対にUSBケーブルを取り外さないでください。

パソコンで再生する

静止画

JPEG 形式のファイルを扱えるソフトウェアをご利用ください。静止画ファイル（拡張子 jpg）をダブルクリックすると静止画を見ることができます。

動画

Windows Media™ Player（バージョン 6.4 以降）をご利用ください。Windows Media™ Player はマイクロソフト社のホームページからダウンロードできます。

http://www.microsoft.com/japan/

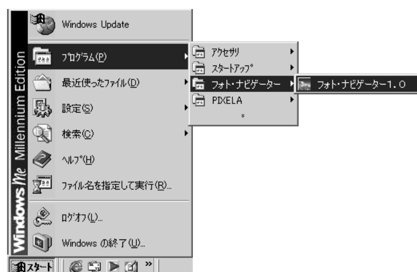
Windows Media™ Player で動画ファイル（拡張子 asf）を開いても再生できないときは、インターネットに接続してから動画ファイルを開いてください。自動的に必要なソフトウェアがダウンロードされて、再生されます。
再生中に音声が出ないときは、付属の CD-ROM より G.726 デコーダをインストールしてください。

アルバムに静止画を読み込む

付属のフォト・ナビゲーターを使うと、静止画を集めてアルバムを作ることができます。

1 「スタート」をクリックし、「プログラム」－「フォト・ナビゲーター」の順にポイントし、「フォト・ナビゲーター 1.0」をクリックする

フォト・ナビゲーターが立ち上がります。





2 「インポート」をクリックする

3 「画像」をクリックする

「ファイルを開く」または「開く」が表示されます。

4 静止画のあるフォルダを開く

- パソコンにコピーした静止画のフォルダを選び、「開く」ボタンをクリックします。
- メモリーカードから読み込む場合は、「リムーバブルディスク」の「DCIM」フォルダの中にあるフォルダを選び、「開く」ボタンをクリックします。

画面に静止画ファイルが表示されます。



5 静止画ファイルを選択して、「開く」をクリックする。

- 複数のファイルを選択することもできます。
- フォト・ナビゲーターに静止画ファイルをドラッグ＆ドロップしても開くことができます。

フォト・ナビゲーターの右欄に静止画が追加されます。



静止画

手順 2 ～ 5 を繰り返すと、さらに静止画を読み込むことができます。静止画の再生や整理については、次章をご覧ください。

ご注意
- メモリーカードから読み込む場合、読み込み中は絶対に USB ケーブルを取り外さないでください。



- フォト・ナビゲータで読み込めるのは静止画のみです。動画と効果音は読み込めません。

アルバムを保存して終了する

アルバムを保存する

フォト・ナビゲーターを終了するときや、アルバムを新規に作成するときは、まず開いているアルバムを保存します。

1 「エクスポート」をクリックする



2 「アルバム」をクリックする

「名前を付けて保存」が表示されます。

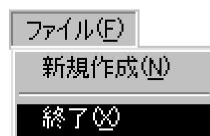
3 保存する場所を指定し、アルバムのファイル名を入力して「保存」をクリックする。

- 拡張子 jia の関連付けメッセージが表示されたら、「はい」をクリックする。

アルバムが保存されます。

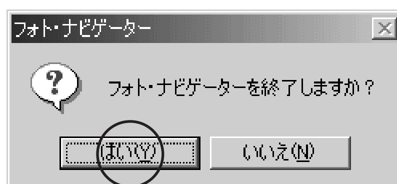
フォト・ナビゲーターを終了する

1 「ファイル」メニューをクリックし、「終了」をクリックする



フォト・ナビゲーターの終了を確認するメッセージが表示されます。

2 「はい」をクリックする



フォト・ナビゲーターが終了します。



- 誤って静止画を変更したり削除したときは、アルバムを保存せずにフォト・ナビゲーターを終了してください。保存を確認するメッセージが表示されるので、「いいえ」をクリックします。

USB ケーブルを取り外す

Windows® 98/98SE の場合

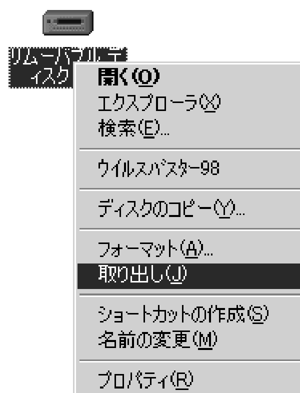
メモリーカードを交換するときやパソコンの電源を切るときは、USB ケーブルを取り外してビデオカメラの電源を切ってください。

1 ビデオカメラの液晶画面に「USB 通信中」と表示されていないことを確認する

- 「USB 通信中」と表示されているときは、消えるまでしばらくお待ちください。

2 「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」アイコンを、マウスの右ボタンでクリックする

メニューが表示されます。



3 メニューの「取り出し」をクリックする

「リムーバブルディスク」アイコンが消えます。

- アイコンが消えない場合は、しばらく待ってから手順 4 へ進みます。

4 USB ケーブルを取り外す

- メッセージが表示されたときは、「OK」をクリックします。

5 ビデオカメラの電源ダイヤルを「切」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が切れます。

Windows® 2000/Me の場合

メモリーカードを交換するときやパソコンの電源を切るときは、USB ケーブルを取り外してビデオカメラの電源を切ってください。

1 ビデオカメラの液晶画面に「USB 通信中」と表示されていないことを確認する

- 「USB 通信中」と表示されているときは、消えるまでしばらくお待ちください。

2 タスクバーの「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックする



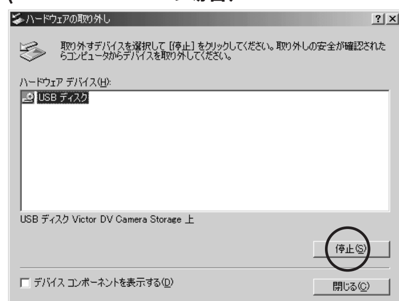
「ハードウェアの取り外し」が表示されます。

- 表示されない場合は、しばらく待ってから手順 6 へ進みます。

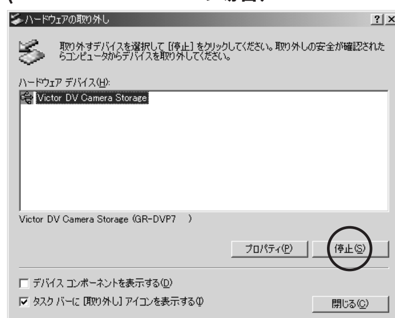
3 「USB ディスク」または「Victor DV Camera Storage」を選択し、「停止」をクリックする

「ハードウェアデバイスの停止」が表示されます。

(Windows® Me の場合)



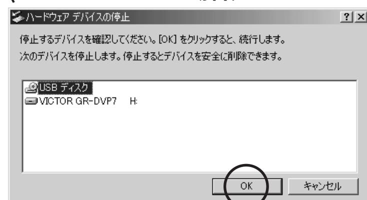
(Windows® 2000 の場合)



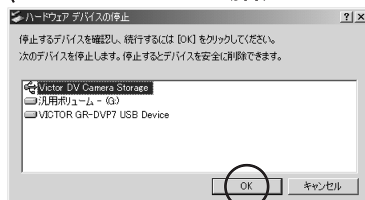
4 「OK」をクリックする

安全に取り外せることを知らせるメッセージが表示されます。

(Windows® Me の場合)



(Windows® 2000 の場合)



5 「OK」をクリックする

6 USB ケーブルを取り外す

7 ビデオカメラの電源ダイヤルを「切」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が切れます。

メモ

再生と加工(Windows®)

フォト・ナビゲーターを使って静止画を加工する方法を説明します。
メールで静止画ファイルを送ったり、アルバムを Web ページとして保存することができます。
フォト・ナビゲーターのウインドウに表示されるアイコンは、メニュー内にある機能と同じはたらきをしています。本書では、アイコンをメインにして説明しています。
Windows®をお使いの場合にお読みください。本章の前にあらかじめ前章をお読みください。



アルバムを読み込む

1 **フォト・ナビゲーターを立ち上げる**

2 **「インポート」をクリックする**

3 **「アルバム」をクリックする**

「ファイルを開く」または「開く」が表示されます。



4 **アルバムを保存したフォルダを開く**

5 **アルバムファイルをクリックし、「開く」をクリックする。**

フォト・ナビゲーターの右欄にアルバムの内容が表示されます。



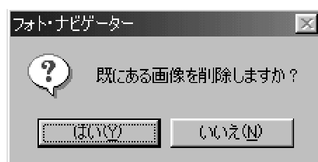
6 **「エクスポート」をクリックする**

すでにアルバムを表示しているときは

手順 5 の次に確認画面が表示されます。

はい　：新たに開いたアルバムを表示する。（表示中のアルバムは保存できます）

いいえ：表示中のアルバムに、新たに開いたアルバムの静止画を追加する。





- フォト・ナビゲーターにアルバムファイルをドラッグ＆ドロップしても開くことができます。

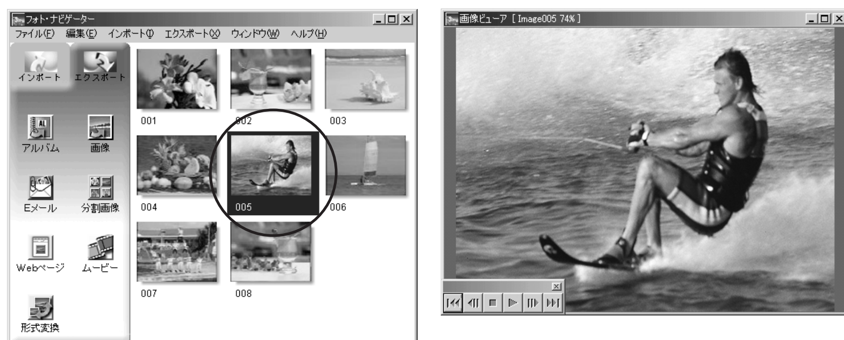
静止画を再生する

選んで再生する

フォト・ナビゲーターの右欄に並んだ静止画のなかから、どれでも選んで再生できます。

1 再生したい静止画をダブルクリックする

「画像ビューア」ウィンドウが表示され、選んだ静止画が再生されます。



順に再生する

スライドショーのように静止画を順に再生したいときは、「画像ビューア」ウィンドウの ▶ をクリックします。◀II と II▶ で 1 枚ずつ手動で進めることもできます。



スライドショーの再生速度を調節するには、「画像ビューア」ウィンドウをマウスの右ボタンでクリックし、表示されたメニューの「スライドショー」－「時間の設定」をクリックします。



- スライドショーの表示間隔は、画像の表示にかかる時間の分だけ「時間の設定」より長くなります。

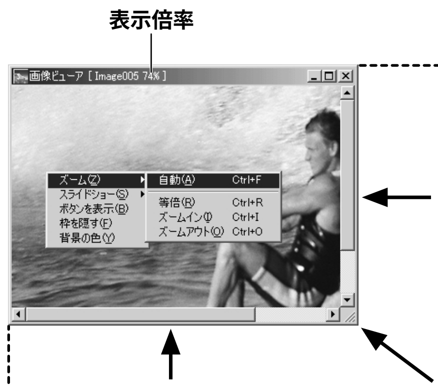
拡大・縮小する

静止画の表示サイズを変更したいときは、次の手順で操作します。

1 「画像ビューア」ウィンドウの角をドラッグし、静止画を表示したい大きさにする

2 「画像ビューア」ウィンドウをマウスの右ボタンでクリックし、「ズーム」－「自動」をクリックする

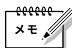
ウィンドウの大きさに合わせて静止画が拡大または縮小し、ウィンドウのタイトルバーにある表示倍率（拡大率/縮小率）が変化します。



その他の拡大・縮小

ウィンドウの大きさに合わせるほかに、次の方法でも静止画の表示サイズを変更できます。どれも「画像ビューア」ウィンドウをマウスの右ボタンでクリックして選択します。

「ズーム」－「等倍」　：本来の大きさ（表示倍率 100%）で表示する。
「ズーム」－「ズーム・イン」　：現在の２倍の表示倍率で表示する。
「ズーム」－「ズーム・アウト」　：現在の半分の表示倍率で表示する。



● 拡大と縮小の範囲は 20%から 400%です。

アルバムを整理する

アルバムに読み込んだ静止画は、必要に応じて削除したりコピーしたりできます。ここで扱うのはアルバムのなかの静止画だけです。アルバムに読み込んだ元の静止画ファイルには影響しません。

複数の静止画を選択する

静止画をまとめて削除したりコピーしたりするときは、操作の前に複数の静止画を選択します。すべての静止画を選択することもできます。

静止画を連続して選択する

Shift キーを押しながら、静止画をクリックします。



Shift + クリック

選択した静止画より番号の小さい静止画が選択されます。

静止画をひとつずつ選択する

選択したい静止画を、Ctrl キーを押しながらひとつずつクリックします。



Ctrl + クリック

すべての静止画を選択する

編集メニューの「すべてを選択する」をクリックします。



不要な静止画を削除する

1 削除したい静止画をクリックし、編集メニューの「削除」をクリックする

確認のメッセージが表示されます。



2 「はい」をクリックする

静止画が削除されます。



静止画をコピーする

1 コピーしたい静止画をクリックし、編集メニューの「コピー」をクリックする



2 静止画を挿入する場所をクリックする

- アルバムの最後に追加するときは、右欄の余白をクリックします。

3 編集メニューの「貼り付け」をクリックする

選択した場所の直前に、コピーした静止画が挿入されます。



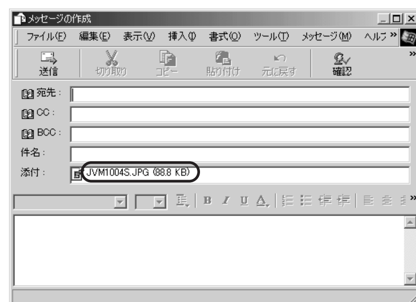
メールで送信する

アルバムに取り込んだ静止画は、メールに添付して送ることができます。

1 送信したい静止画をクリックし、「E メール」をクリックする

メールソフトの新規メッセージ・ウィンドウが表示され、添付欄に静止画ファイルが登録されます。







- お使いのメールソフトによっては、「E メール」ボタンで立ち上がらないことがあります。
- メールソフトによって、「MAPI クライアントに設定」または「MAPI アプリケーションから使う」などの設定が必要な場合があります。
- 同時に作成できるメールは 3 通までです。
- Outlook Express を使用していて、メールを添付できない場合は、Internet Expolorer5.5 以降へバージョンアップ（標準インストール）してください。

Web ページを作る

アルバムの内容を HTML 形式で保存できます。次のようなときに利用してください。

Web ページを作るとき ： 写真集のような Web ページを作成できます。
アルバムを配布するとき ： Web ブラウザで鑑賞できるアルバムを作成できます。CD-R などで配布するときに便利です。

1 HTML 形式で保存したい静止画を選択する

- 複数の静止画を選択するには、Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら静止画をクリックします。
- すべての静止画を選択するには、編集メニューの「すべてを選択」をクリックします。



2 「Web ページ」をクリックする

「Web ページ」が表示されます。

3 次の各項目を設定する

- 題名： Web ページのタイトルを変更できます。
- 文字の色：タイトル文字の色です。
- 背景の色： Web ページの背景色です。（文字と別の色にしてください）
- 画像の水平幅を制限する：
  Web ブラウザでは大きな画像を鑑賞しずらいので、画像の大きさを制限できます。（パソコンの画面の幅よりも充分に小さな値に設定してください）



4 「OK」をクリックし、保存場所を指定して「保存」をクリックする



HTML ファイルが保存され、同時に同名のフォルダが保存されます。続いてWeb ページを表示するか確認するメッセージが表示されます。

5 「はい」をクリックする



Web ブラウザが立ち上がり、作成したHTML ファイルが表示されます。

- Web ページの画像をクリックすると、拡大表示になります。

このあとは

HTML ファイルをダブルクリックすると、Web ブラウザで鑑賞できます。ホームページにアップロードしたり、CD-R などに保存して配布したりできます。
作成した HTML ファイルとフォルダはつねにセットで扱ってください。フォルダを失うと Web ブラウザで鑑賞できません。



- ホームページの作り方については、ご利用のプロバイダのホームページや市販の参考書をご覧ください。
- HTML ファイルを編集するときは、市販のホームページ作成ソフトなどをご利用ください。

画像サイズや画質を変更する

画像サイズを変更する

フォト・ナビゲーターに読み込まれている画像のサイズを変更します。メールに添付する画像やアルバムに保存する画像を小さくする場合などに利用できます。

1 変更したい画像を選択する

- 複数の静止画を一括して変更するときは、Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら静止画をクリックします。
- すべての静止画を選択するには、編集メニューの「すべてを選択」をクリックします。



2 「形式変換」をクリックする

「画像形式」が表示されます。

3 目的に応じて項目を選択する

- 拡大／縮小：「幅」と「高さ」の欄で画像サイズを設定できます。「縦横比を維持」のチェックを外すと、縦長や横長の画像にすることもできます。
- 一般的なサイズ：一般的な画像サイズから選択できます。
- PDA サイズ：多くの PDA で表示できる画像サイズ（160 × 160）になります。



4 「OK」をクリックする

選択した画像サイズに変更されます。縦横比を変更した場合は余白が黒くなります。

画質などを変更する

画像サイズのほかに、回転、画質の変更や補正、ファイル形式の変更もできます。ここでは各設定の役割について説明します。

90 °回転

ビデオカメラを横倒しに構えると、縦長の構図で撮影できます。この静止画は横向きに再生されるので、90 °回転させて縦向きに修正できます。





形式

画像のファイル形式を選択できます。

JPEG ：インターネットで一般的です。ファイルサイズが小さくなります。

BITMAP ：Windows®の標準的な画像形式（BMP）です。多くのアプリケーションで利用できます。

JPEG 品質

「形式」欄で JPEG を選択したときに設定できます。スライダーを左側に移動するとファイルサイズが小さくなります。右側に移動すると画質が低下しにくくなります。初期値は 75 です。



- 「形式」欄で JPEG を選択した場合、「画像形式」で「OK」をクリックするたびに画質が若干ずつ低下します。画質を元に戻すには、元の静止画ファイルを読み込みなおしてください。
- 「画像補正(DV)」欄は使用できません。



- ファイルサイズを確認するには、マウスの右ボタンで静止画をクリックして「プロパティ」を選びます。

アルバムから静止画を取り出す

アルバムから静止画を取り出し、ファイルとして保存できます。

1 取り出したい静止画を選択する

- 複数の静止画を選択するには、Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら画像をクリックします。
- すべての静止画を選択するには、編集メニューの「すべてを選択」をクリックします。



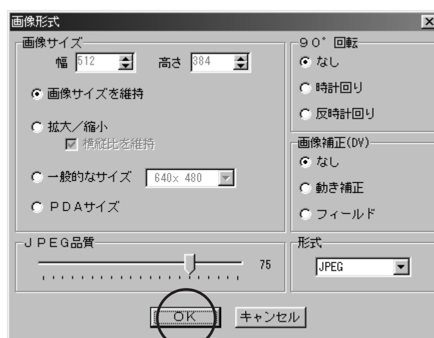
2 「画像」をクリックする

「画像形式」が表示されます。

3 「OK」をクリックする

- 必要に応じて画像サイズや画質を変更できます。(☞P.36)

「名前を付けて保存」が表示されます。



4 保存する場所を指定し、「保存」をクリックする。

画像ファイルが保存されます。

静止画の一覧を作る

複数の静止画を並べ、1 枚の静止画ファイルにできます。



1 Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら、一覧に加える静止画を選択する

2 「分割画像」をクリックする

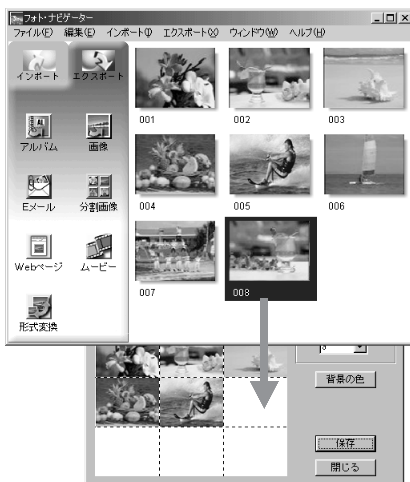
「分割画像」が表示されます。



3 分割数を選択する

- 4、9、16 の３種類から選択できます。

4 「背景の色」をクリックし、全体の背景にする色を選択して「OK」をクリックする



5 必要に応じて静止画の位置を変更する（☞P.32）

（☞P.32）

- 削除：静止画をマウスの右ボタンでクリックして「削除」を選びます。
- 追加：フォト・ナビゲーターの右欄から、「分割画像」へ静止画をドラッグします。（右図参照）

6 「保存」をクリックする

「画像形式」が表示されます。

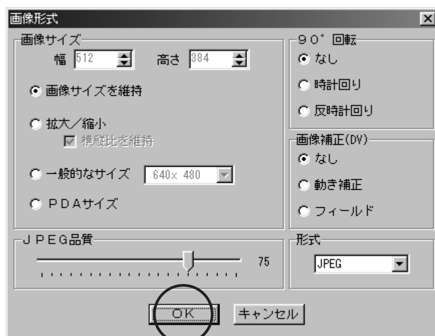
再生と加工（Windows®）

次へ続く

7 「OK」をクリックする

- 必要に応じて画像サイズや画質を変更できます。(☞P.36)

「名前を付けて保存」が表示されます。



8 保存する場所を指定し、「保存」をクリックする。

- ファイル名を変更できます。

静止画の一覧ファイルが保存されます。

スライドショーなどを作る

静止画を順番に再生するスライドショーや一連の静止画をつなげたアニメーションを作成し、動画ファイル（拡張子 avi）として保存できます。

スライドショー： 1 枚の画像を数秒ずつ表示します。

アニメーション： 1 秒間に数枚の静止画を表示します。連続してみえるように静止画を選ぶことをお勧めします。

1 Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら、複数の静止画を選択する



2 「ムービー」をクリックする

「ムービー設定」が表示されます。

3 目的に応じて「スライドショー」か「アニメーション」を選択し、秒数を設定する



4 必要に応じて、各項目を設定する

- 画像サイズ：動画ファイルの大きさを選択できます。
- ビデオ圧縮：圧縮の種類を選択できます。
- 背景の色：縦横比が 3:4 以外のときに表示される背景の色を選択できます。

5 「OK」をクリックする

「名前を付けて保存」が表示されます。

次へ続く

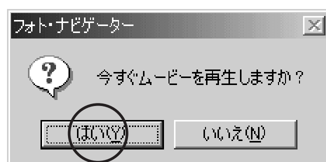
6 保存する場所を指定し、「保存」をクリックする。

- ファイル名を変更できます。

動画ファイルが保存され、確認のメッセージが表示されます。

7 「はい」をクリックする

動画ファイルが再生されます。





- 「ビデオ圧縮」を変更する場合、再生するシステムが対応していることを確認してください。
- 「ビデオ圧縮」の設定によっては、ムービーを作成できない場合があります。
- 「ビデオ圧縮」の設定は、無効となる場合があります。

基本(Macintosh)

USB ケーブルを使って、メモリーカードの静止画ファイルや動画ファイルをパソコンのハードディスクにコピーできます。
Macintosh をお使いの場合にお読みください。

準備する

USB ケーブルを使ってビデオカメラと接続すると、メモリーカードの静止画ファイルや動画ファイルをハードディスクにコピーしたり、付属の CD-ROM の効果音ファイルをメモリーカードに保存することができます。

動作環境

次の条件を満たすパソコンは、USB ケーブルでビデオカメラと接続できます。

ハードウェア	：	USB 端子を標準搭載する iMac, iBook, Power Macintosh G3, PowerMac G4, PowerBook G3, PowerBook G4
OS	：	Mac OS 9.0.4～9.1
RAM	：	64MB 以上を推奨
ハードディスク	：	[ImageMixer] インストールに約 100MB 以上必要。1GB 以上の空き容量を推奨。
その他	：	QuickTime 4 以降

ソフトウェアをインストールする

1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

2 CD-ROM の中の「ImageMixer」フォルダをダブルクリックする

3 「Setup Menu」アイコンをダブルクリックする

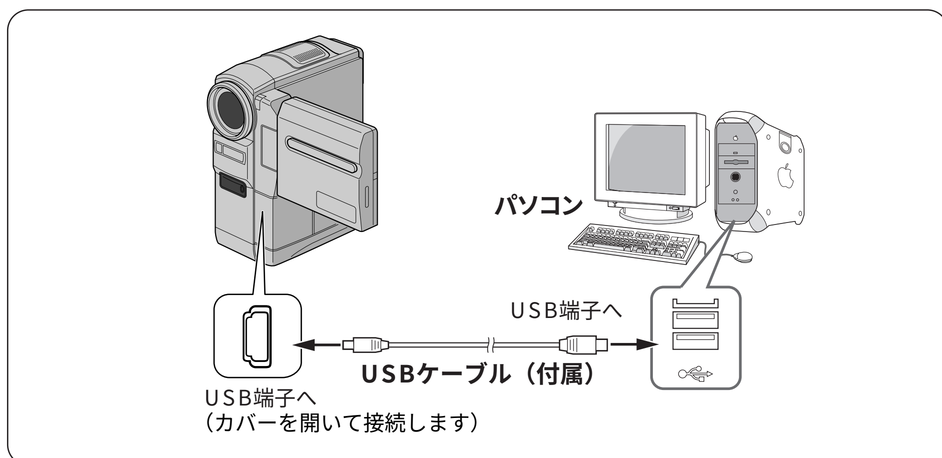
インストーラが立ち上がります。

Setup Menu

4 「PIXELA ImageMixer」をクリックし、画面の指示にしたがって操作する

5 「USB Driver」をクリックし、画面の指示にしたがって操作する

USB ケーブルで接続する



1　ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

2　メモリーカードがビデオカメラに入っていることを確認する

3　ビデオカメラのビデオ／メモリースイッチを「メモリー」の位置に合わせる

4　ビデオカメラの電源ダイヤルを回し、「再生」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が入ります。

5　USB ケーブルでパソコンと接続する

ビデオカメラの液晶画面に「USB モード」と表示され、デスクトップにメモリーカードのアイコンが表示される。



- メモリーカードの名称は「名称未設定」になっています。ほかのディスクやフォルダと区別するために、別の名称に変更しておくことをお勧めします。

次へ続く

基本（Macintosh）

6 メモリーカードのアイコンをダブルクリックする

メモリーカードの中のフォルダが表示されます。



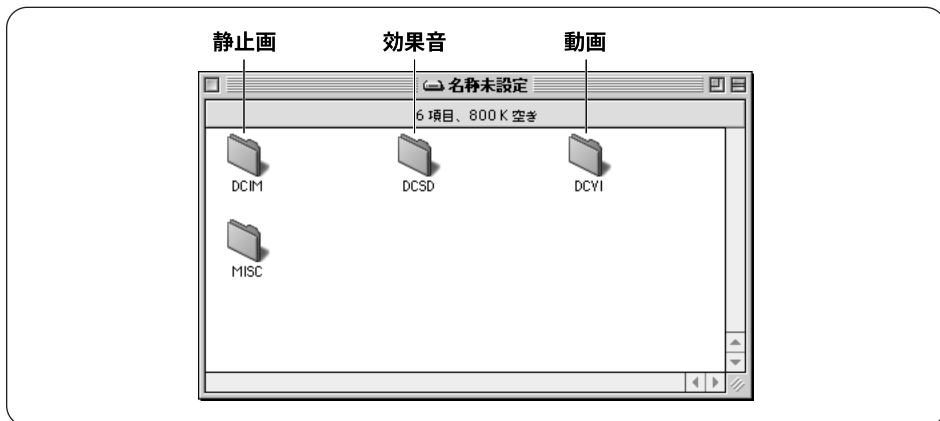
- ビデオカメラの液晶画面に「USB 通信中」と表示されている間は、絶対に USB ケーブルを取り外さないでください。



- USB ハブを経由してパソコンに接続すると、ハブとパソコンの相性によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。この場合は、ハブを使用しないでパソコン本体の USB 端子に接続してください。
- USB ケーブルの延長ケーブルは使用しないでください。
- 新たに購入したメモリーカードをご使用になる場合は、あらかじめビデオカメラでメモリーカードを初期化してください。パソコンでファイルをコピーできないことがあります。

メモリーカードの中を見る

メモリーカードには下記のフォルダが自動的に作成されます。ファイルの種類ごとに異なるフォルダに記録されます。



静止画（拡張子 jpg） ：「DCIM」フォルダの中のフォルダ（☞P.49）
効果音（拡張子 mp3） ：「DCSD」フォルダの中の「100JVCGR」フォルダ（☞P.68）
動画（拡張子 asf） ：「DCVI」フォルダの中のフォルダ（☞P.49）
MISC ：DPOF 設定データ



- 「MISC」フォルダは DPOF 設定しているときのみ表示されます。DPOF 設定については、ビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- メモリーカードにビデオカメラで使えないファイルを保存したり、メモリーカードからファイルやフォルダを削除すると、ビデオカメラの動作に支障がでることがあります。ファイルを削除するときは、パソコンではなく、ビデオカメラで操作してください。

画像をパソコンで再生する

メモリーカードに記録された静止画と動画のファイルを、パソコンにコピーして再生することができます。

パソコンにコピーする

1 デスクトップのメモリーカードのアイコンをダブルクリックする

メモリーカードの中のフォルダが表示されます。

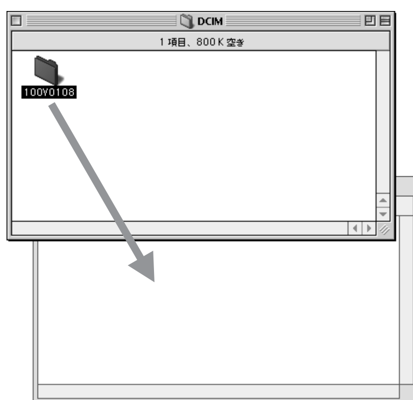


2 コピー先のフォルダをダブルクリックして開く

3 コピーするフォルダを選び、コピー先のフォルダへドラッグ＆ドロップする

- 静止画の場合：「DCIM」フォルダの中のフォルダをコピーします。
- 動画の場合：「DCVI」フォルダの中のフォルダをコピーします。

ビデオカメラの液晶画面に「USB通信中」と表示され、メモリーカードからパソコンにフォルダがコピーされます。



ご注意
- 「USB通信中」と表示されている間は、絶対にUSBケーブルを取り外さないでください。

パソコンで再生する

静止画

JPEG 形式のファイルを扱えるソフトウェアをご利用ください。静止画ファイル（拡張子 jpg）をダブルクリックするか、ソフトウェアのアイコンにドラッグ＆ドロップすると静止画を見ることができます。

動画

Windows Media™ Player for Mac（バージョン 6.4 以降）をご利用ください。Windows Media™ Player for Mac はマイクロソフト社のホームページからダウンロードできます。

http://www.microsoft.com/japan/mac/

USB ケーブルを取り外す

メモリーカードを交換するときやパソコンの電源を切るときは、USB ケーブルを取り外してビデオカメラの電源を切ってください。







1 デスクトップのメモリーカードのアイコンを「ゴミ箱」に捨てる

- メッセージが表示されたときは、「OK」をクリックする

2 ビデオカメラの液晶画面に「USB 通信中」と表示されていないことを確認する

- 「USB 通信中」と表示されているときは、消えるまでしばらくお待ちください。

3 USB ケーブルを取り外す

4 ビデオカメラの電源ダイヤルを「切」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が切れます。

活用(Windows® & Macintosh)

ImageMixer は、静止画の取り込みとアルバム作成のほか、色や明るさの調整、USB ケーブルや DV ケーブルを使った動画の取り込みなど、さまざまな機能を持つソフトウェアです。Windows® または Macintosh をお使いの場合にお読みください。



ImageMixer について

こんなことができます

付属の ImageMixer は、さまざまな機能を持つソフトウェアです。おもに次の用途に利用できます。

オリジナル・ムービーを編集できます

ビデオカメラから動画を取り込んで並び替え、場面の切り替え部に効果を入れたり、静止画を挿入したりと自在に編集できます。アフレコ音声や BGM を加えることもできます。
編集したムービーは MPEG1 形式になり、ファイルサイズは DV 形式より比較的小さくなります。友達への配布など、ビデオカメラの楽しみ方が広がります。

テープの映像を取り込めます
DV ケーブルで接続し、テープの映像を MPEG1 形式に変換して取り込めます。
（Windows® Me と Windows® 2000 Professional のみ）

リアルタイムで映像を取り込めます
USB ケーブルで接続し、ビデオカメラのテープの代わりにパソコンのハードディスクに録画できます。（Windows® 98 は除く）

メモリーカードの静止画を読み込めます
USB ケーブルで接続し、メモリーカードの静止画を読み込むことができます。

マイクや音楽 CD から音声を取り込めます
パソコンのマイクで録音できます。動画を再生しながら録音できるので、動画にタイミングを合わせやすく、アフレコ編集が容易になります。音楽 CD から BGM を取り込むこともできます。

静止画を編集できます

静止画の明るさやコントラストを調節したり、必要な部分だけを切り出すことができます。そのほか、人物の瞳が赤く写ってしまったときに修正するなど、さまざまな機能があります。
また、静止画、図形、文字などを自由に配置してポストカードや CD-R のレーベルなどを作ることができます。

ハードディスクにある映像を管理できます

ムービーの編集に使える映像（動画、静止画、音声）をアルバムとして管理できます。一覧形式やスライドショーで確認するほか、検索、移動、複製、削除などファイルを操作できます。ムービーの編集が容易になるほか、ビデオカメラで撮影したさまざまな映像を分類して管理したいときに役立ちます。

重要：フォト・ナビゲーターとの相違点
フォト・ナビゲーターと異なり、ImageMixerでは画像ファイルの所在とサムネール画像だけをアルバムに登録します。ImageMixerで画像を加工すると元のファイルが加工され、削除すると元のファイルが削除されます。またファイルを移動すると、ImageMixerはファイルの所在を見失います。ファイルの取り扱いに注意してください。

もっと詳しく知るには

本書では、ImageMixerの概要を紹介します。各機能の使い方についてはオンラインヘルプをご覧ください。
Windows®をお使いの場合は、ImageMixer画面の右上にある「？」ボタンをクリックします。Macintoshをお使いの場合は、「PIXELA ImageMixer」フォルダの「マニュアル.html」ファイルをダブルクリックします。Webブラウザが立ち上がり、オンラインヘルプが表示されます。

お問い合わせ先

ImageMixerのご使用方法、ご質問、ご相談につきましては、下記のユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

株式会社　ピクセラ　ユーザーサポートセンター
住所　〒590-0985　大阪府堺市戎島町4-45-1 ポルタスセンタービル
Phone　072-224-0181
受付時間　10:00～13:00、14:00～17:00（年末年始、祝祭日、所定定休日を除く）
Fax　072-224-7177
受付時間　24時間受付（返信は営業日となります）

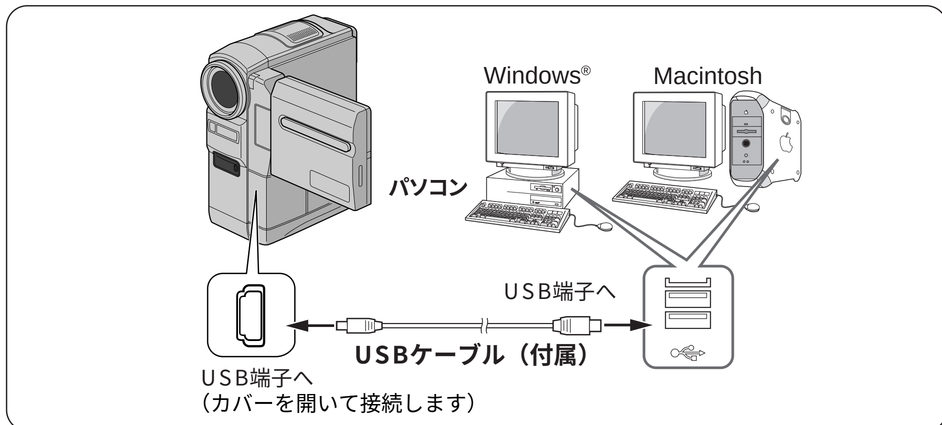
メールでのサポートは行っておりません。ご質問や操作方法に関するお問い合わせは、ユーザーサポートセンターまでお電話かFAXにてご連絡ください。
ピクセラホームページ：http://www.pixela.co.jp/ImageMixer/

動画を取り込む

リアルタイムで取り込む

USB ケーブルでビデオカメラを接続したときは、ビデオカメラのテープやメモリーカードの代わりにパソコンに録画できます（リアルタイム取り込み）。

USB ケーブルの接続



1 ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

2 ビデオカメラのビデオ／メモリースイッチを「メモリー」の位置に合わせる

3 ビデオカメラの電源ダイヤルを、「撮影」または「Ⓜ」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が入ります。



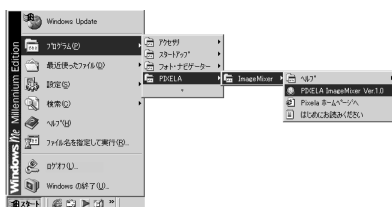
- メモリーカードを読み書きするときとは、操作が異なります。

4 USB ケーブルでパソコンと接続する

ビデオカメラの液晶画面に「Web CAMERA」と表示されます。

- パソコンがビデオカメラを認識しないときは、USBドライバーをインストールしてください。（Windows® ☞P.13、Macintosh ☞P.44）

5 「スタート」をクリックし、「プログラム」―「PIXELA」―「ImageMixer」の順にポイントし、「PIXELA ImageMixer Ver.1.0」をクリックする



- Macintoshをお使いの場合は、「ImageMixer」アイコンをダブルクリックします。



ImageMixerが立ち上がります。

6 左端のボタンをクリックする

入力モードの画面が表示されます。



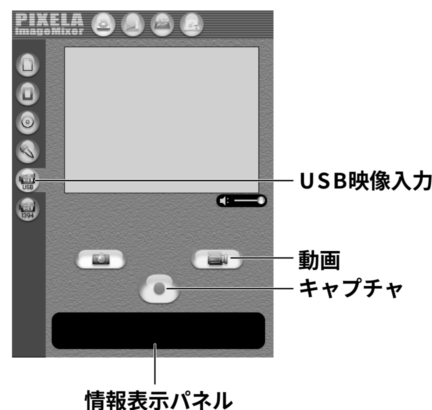
7 USB映像入力ボタン（USBボタン）をクリックする

USB映像入力モードの画面が表示されます。

動画の取り込み

1 動画ボタンをクリックする

保存先の空き容量が、情報表示パネルに表示されます。



2 キャプチャボタンをクリックする

取り込みが開始され、「動画取り込み中」と表示されます。

次へ続く

3 再びキャプチャボタンをクリックする

取り込みが終了し、「MPEG へ変換中」と表示されます。変換が終了すると動画ファイル（拡張子 mpg）がアルバムに登録されます。

静止画の取り込み

1 静止画ボタンをクリックする

「静止画取り込み可能です」と情報表示パネルに表示されます。

2 キャプチャボタンをクリックする

クリックした瞬間の映像が取り込まれ、静止画ファイル（拡張子 jpg）がアルバムに登録されます。

- ビデオカメラの操作は、ズームスイッチ、フォーカスボタン、静止画ボタンのみに制限されます。



USB ケーブルの取り外し

1 USB ケーブルを取り外す

2 ビデオカメラの電源ダイヤルを、「切」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が切れます。

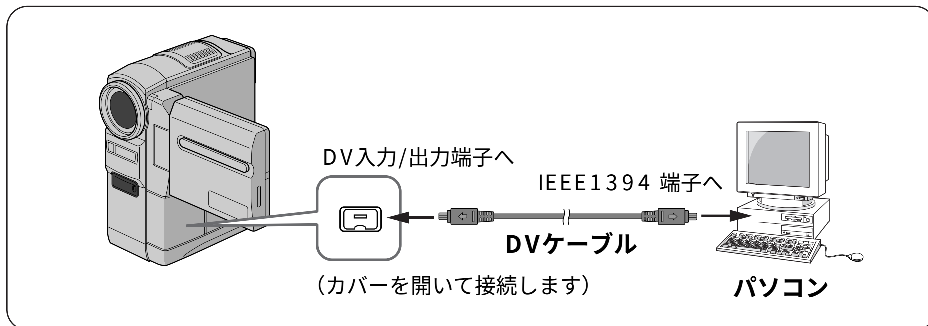


- MPEG1 で動画を取り込めるが、MPEG4 に変換できない場合は、Windows Media™ Player（バージョン 7 以降）をインストールしてください。
  Windows Media™ Player はマイクロソフト社のホームページからダウンロードできます。
  http://www.microsoft.com/japan/
- ビデオカメラの液晶画面に「Web CAMERA」と表示されているときは、ビデオカメラのヘッドホンの音量を調節できません。（ヘッドホンは使用できます）

テープから取り込む（Windows®のみ）

DV ケーブル（別売）でビデオカメラを接続したときは、ビデオカメラのテープからビデオをパソコンにコピーできます。

DV ケーブルの接続



1 ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

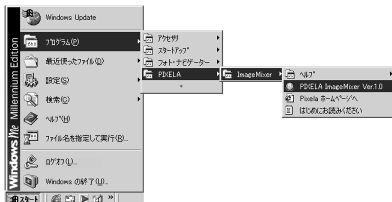
2 ビデオカメラのビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

3 DV ケーブルでパソコンの IEEE1394 端子と接続する

4 ビデオカメラの電源ダイヤルを、「再生」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が入ります。

5 「スタート」をクリックし、「プログラム」－「PIXELA」－「ImageMixer」の順にポイントし、「PIXELA ImageMixer Ver.1.0」をクリックする



ImageMixer が立ち上がります。

次へ続く

活用（Windows® & Macintosh）

6 左端のボタンをクリックする

入力モードの画面が表示されます。

7 デジタルビデオカメラ入力ボタン（1394 ボタン）をクリックする

デジタルビデオカメラ入力モードの画面が表示され、しばらくすると青い画面が表示されます。



ビデオのコピー

1 動画ボタンをクリックする

保存先の空き容量が、情報表示パネルに表示されます。

2 再生ボタンをクリックする

ビデオカメラでビデオが再生され、パソコンに同じ映像が表示されます。



3 キャプチャボタンをクリックする

取り込みが開始され、「動画取り込み中」と表示されます。

4 再びキャプチャボタンをクリックする

取り込みが終了し、「MPEG へ変換中」と表示されます。変換が終了すると動画ファイル（拡張子 mpg）がアルバムに登録されます。

- ビデオカメラの再生は自動的に停止します。

DV ケーブルの取り外し

1 DV ケーブルを取り外す

2 ビデオカメラの電源ダイヤルを、「切」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が切れます。



- 「ビデオのコピー」の手順 1 で静止画ボタンをクリックすると、ビデオの映像を静止画としてコピーできます。



- DV 画質のまま取り込むことはできません。市販の DV キャプチャ用アプリケーションをご利用ください。

ファイルを管理する

アルバムに登録したファイル（静止画、動画、音声）を目的に応じて分類・検索できます。再生するにはサムネールをダブルクリックします。



動画を編集する

アルバムに登録した動画ファイルを編集できます。静止画を挿入したり、音声を加えることもできます。



画面下側に並べたサムネール（動画、静止画）をダブルクリックすると、編集ウィンドウが表示されます。動画の前後を削除したり、音量を調節できます。静止画は表示時間を調節できます（☞ 次ページ）。

編集した結果を確認するにはプレビューボタンをクリックします。編集が終了したら、動画作成ボタンをクリックして保存します。

次へ続く

動画を編集する

編集ウィンドウ



その他

ビデオカメラをインターネット経由の TV 電話に使用する方法や、付属のCD-ROM にある効果音をビデオカメラで使う方法などについて説明します。また、付属のソフトウェアが正常に動作しない場合の対処方法とサポートについて記載しています。

インターネット TV 電話を楽しむ

Windows® NetMeeting®を使う（Windows®のみ）

Windows® NetMeeting®を使えば、ビデオカメラを TV カメラとしてインターネット経由の TV 電話を楽しむことができます。

準備する

1 Windows® NetMeeting® 3.0 以降と MSN Messenger Service がインストールされていることを確認する

- これらの最新版はマイクロソフト社のホームページからダウンロードできます。
  http://www.microsoft.com/japan/

2 USB ストリームクラスドライバをインストールする（☞P.14）

- インストール済みの場合は、手順 3 へ進みます。

3 リアルタイム取り込みと同じ方法で、ビデオカメラをパソコンに接続する（☞P.54）



- メモリーカードを読み書きするときとは、操作が異なります。

4 「コントロールパネル」の「マルチメディア」を開き、「オーディオ」タブの「優先するデバイス」で「Victor DVCamera USB Microphone」を選びます。さらに、音量レベルを最大に設定します。

5 NetMeeting®を立ち上げ、画面の指示にしたがってセットアップする

- インターネットへ接続できる環境と、メールアドレスが必要です。
- オーディオの調整ウィザードでは、録音デバイスとして「Victor DVCamera USB Microphone」を選びます。

6 通話メニューの「ディレクトリ」をクリックする。

「通話先の検索」が表示されます。

7 画面の指示にしたがい、HotMail に登録する

8 画面の指示にしたがい、MSN Messenger service をセットアップする

- すでにセットアップが済んでいる場合は、MSN Messenger Service へのログオン画面が表示されます。

9 NetMeeting® と MSN Messenger Service を終了する

TV 電話する

1 インターネットに接続していなければ、接続する

2 リアルタイム取り込みと同じ方法で、ビデオカメラをパソコンに接続する（☞P.54）



- メモリーカードを読み書きするときとは、操作が異なります。

3 NetMeeting® を立ち上げ、通話メニューの「ディレクトリ」をクリックする。

MSN Messenger Service へのログオン画面が表示されます。

4 画面の指示にしたがい、MSN Messenger Service へサインインする

5 「現在オンライン中の友達」のなかから、通信先を指定し、相手を呼び出す

- 相手が応答すれば、TV 電話を開始できます。通話先にも同等の環境が必要です。

インターネット TV 電話を楽しむ

詳しくは、MSN Messenger Service および NetMeeting® のヘルプをご覧ください。
また、ビクターホームページでも紹介する予定です。

ビクターホームページ
http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/webcamera/faq.html



- Windows® 98 をお使いの場合、ビデオカメラのマイクは利用できません。市販のマイクをパソコンに取り付けるか、パソコンの内蔵マイクを使用してください。
- ダイアルアップルータやブロードバンドルータをご利用の場合は、ルータの取扱説明書をご覧ください。
- インターネットにダイアルアップ接続する場合でも、ファイアウォールやルータを介して接続すると正しくアクセスできません。
- 通話中の画像や音声の品質は、通信回線の状態に依存します。
- NetMeeting® が使用できるかどうかは、加入されているプロバイダにご確認ください。

iVisitを使う

Macintoshをお使いの場合や、MacintoshとWindows®の間でTV電話を楽しむには、米Eyematic社のiVisitを使用します。ただし、iVisitとNetMeeting®の間では通話できません。

動作条件

Windows　：Windows® 98, Windows® 98SE, Windows® Me,
Windows® 2000 Professional

Macintosh：Mac OS 9.0.4～Mac OS 9.1
そのほかの条件については、Windows®版は第1章（☞P.12）、Macintosh版は第3章（☞P.44）をご覧ください。

使用方法

iVisit英語版が下記のWebページで無償公開されています（2002年8月現在）。使用方法については、ビクターホームページで紹介する予定です。

iVisitホームページ
http://www.ivisit.com/

ビクターホームページ
http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/webcamera/faq.html



- Windows® 98をお使いの場合、ビデオカメラのマイクは利用できません。市販のマイクをパソコンに取り付けるか、パソコンの内蔵マイクを使用してください。
- ダイアルアップルータやブロードバンドルータをご利用の場合は、ルータの取扱説明書をご覧ください。
- インターネットにダイアルアップ接続する場合でも、ファイアウォールやルータを介して接続すると正しくアクセスできません。
- 通話中の画像や音声の品質は、通信回線の状態に依存します。

効果音を追加する

付属の CD-ROM には、ビデオカメラで使用できる効果音のファイルが収録されています。ご使用になるには、次の手順でメモリーカードにコピーします。

1 **パソコンでメモリーカードを開く**

- USB ケーブルでビデオカメラを接続する（☞P.15、45）。

2 **付属の CD-ROM をパソコンにセットする**

3 **CD-ROM の中の「DCSD」フォルダの中の「100JVCGR」フォルダを開く**

4 **ビデオカメラで使用するファイルを選ぶ**

- ダブルクリックすると再生できます。

5 **メモリーカードの「DCSD」フォルダの中の「100JVCGR」フォルダへ選んだファイルをコピーする**

USBドライバについての注意事項(Windows®)

USBマスストレージクラスドライバ

インストールに関する注意事項

USBマスストレージクラスドライバをインストールする前にビデオカメラをUSBケーブルで接続すると、正常にインストールされず、USBケーブルを使って画像ファイルや動画ファイルをパソコンに取り込めない場合があります。

対処方法

このような場合は、下記の手順にしたがってデバイスドライバを更新します。

ご注意
- USBオーディオ機器をパソコンに接続している場合は、その機器をパソコンから取り外してから次の操作を行ってください。

1 ビデオカメラをUSBケーブルで接続する(☞P.15)

2 「コントロールパネル」の「システム」を開く

3 「デバイスマネージャ」を開く

- **Windows® 98SE/Meの場合**：「デバイスマネージャ」タブを選択します。
- **Windows® 2000の場合**：「ハードウエア」タブを選択して「デバイスマネージャ」を開きます。

4 「その他のデバイス」の中に「Victor」または「DV Camera」がある場合は、削除する

5 ビデオカメラからUSBケーブルを取り外し、パソコンを再起動する

6 付属のCD-ROMをパソコンにセットし、「USBマスストレージクラスドライバ」をインストールする(☞P.14)

7 ビデオカメラに再びUSBケーブルを接続する

デバイスドライバがインストールされます。

次へ続く

8 **「マイコンピュータ」に「リムーバブルディスク」アイコンが表示されることを確認する**

USB ストリームクラスドライバ

インストールに関する注意事項

USB ストリームクラスドライバをインストールする前にビデオカメラを USB ケーブルで接続すると、正常にインストールされず、PIXELA ImageMixer で USB ケーブルを使って画像や音声を取り込めない場合があります。

対処方法

このような場合は、下記の手順にしたがってデバイスドライバを更新します。

ご注意
- USB オーディオ機器をパソコンに接続している場合は、その機器をパソコンから取り外してから次の操作を行ってください。

1 **ビデオカメラを USB ケーブルで接続する(☞P.54)**

2 **「コントロールパネル」の「システム」を開く**

3 **「デバイスマネージャ」を開く**
- **Windows® 98SE/Me の場合** ：「デバイスマネージャ」タブを選択します。
- **Windows® 2000 の場合** ：「ハードウエア」タブを選択して「デバイスマネージャ」を開きます。

4 **「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の中から「USB オーディオデバイス」を削除する**
- 「その他のデバイス」の中に「Victor」または「DV Camera」がある場合は、それも削除します。

5 **ビデオカメラから USB ケーブルを取り外し、パソコンを再起動する**

6 付属の CD-ROM をパソコンにセットし、「USB ストリームクラスドライバ」をインストールする(☞P.14)

7 ビデオカメラに再び USB ケーブルを接続する

デバイスドライバがインストールされます。

- Windows® 2000 で「デジタル署名がありません」と表示される場合がありますが、そのままインストールを続けてください。

8 手順 2 ～ 3 の方法で「デバイスマネージャ」を開き、次のデバイスが表示されることを確認する

- **「イメージングデバイス」の中** ：「Victor Web Camera」
- **「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の中** ：「Victor DVCamera USB Microphone」

Windows® XP で使用するときの注意事項

USB ドライバをインストールする

USB マスストレージクラスドライバおよび USB ストリームクラスドライバをインストール（☞P.14）したあと、ビデオカメラをはじめて接続するときに次の手順で操作します。

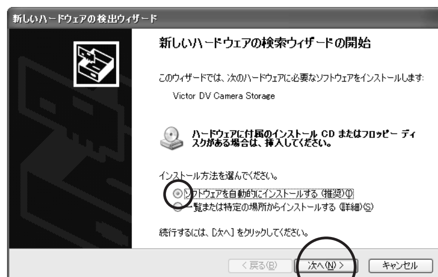
1 ビデオカメラを USB ケーブルで接続する

- メモリーカードから取り込むときは（☞P.15）
- リアルタイムで取り込むときは（☞P.54）

「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

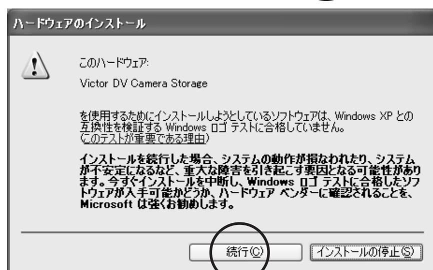
2 「ソフトウエアを自動的にインストールする」をクリックし、「次へ」をクリックする

「ハードウェアのインストール」が表示されます。



3 「続行」をクリックする

インストールが正常に終了します。



メモリーカードから取り込む

「スタート」ボタンをクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。「マイコンピュータ」ウィンドウが開き、ビデオカメラのメモリーカードを表す「リムーバブルディスク」アイコンが表示されます。

USB ケーブルを取り外す

Windows® 2000 と同じ操作で取り外します（☞P.24, P.56）。

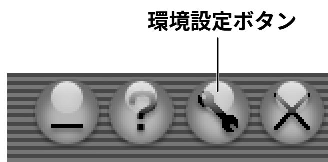
PIXELA ImageMixer を使う

設定する

USB ケーブルで接続するために、次の手順で設定してください。

1 **ImageMixer を立ち上げ、起動画面の 4 つのボタンのうち左端のボタンをクリックする**

2 **画面右上の環境設定ボタンをクリックする**



3 **「入力の環境設定」の「USB 映像入力取り込み設定」の音声キャプチャデバイスを「GR-DVX600K、GR-DVX707K または GR-DVX505K」にする**

操作中に音が出ない、画像が出ないなど不具合が生じたとき

Windows® と ImageMixer の各種設定を変更してください。それでも改善されない場合は、お使いのパソコンに搭載している各種ハードウェアのドライバを Windows® XP に対応した最新版にアップデートしてください。最新版のドライバは、各ハードウェアメーカーのホームページからダウンロードしてください。

DV ケーブルで接続するとき

DV ケーブル（別売）で接続してテープから動画を取り込む場合（☞P.57）、お使いのパソコンのハードウェア構成と性能によっては、音声にノイズが入ることがあります。

インターネットＴＶ電話の制限と対処方法

制限事項

Windows® XP でインターネットＴＶ電話を利用するには、ビデオカメラとパソコンをDV ケーブルで接続し、Windows® Messenger を使用します。そのため、パソコンにIEEE1394 端子が必要です。

- USB ケーブルでビデオカメラを接続すると、Windows® Messenger は使用できません。
- 米 Eyematic 社の iVisit は使用できません。
- Windows® NetMeeting® や iVisit とは通話できません。Windows® Messenger との間で通話してください。
（2002 年 8 月現在）

最新情報については、ビクターのホームページをご覧ください。
http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/webcamera/faq.html

Windows® Messenger をアップデートする

Windows® Messenger Ver4.6 以降にアップデートしてください。Windows® Messenger の最新版は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードできます。
http://messenger.msn.co.jp
http://messenger.msn.co.jp/default.asp?client=0　（2002 年 8 月現在）

Windows® Messenger の最新版を使用しても画面が出ないなどの症状が現れたときは、Windows® XP をアップデートしてください。「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」の「Windows Update」をクリックします。詳しくは、Windows® XP のヘルプとマイクロソフト社のホームページをご覧ください。
http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/



- Windows® Messenger のインストールには、Windows® XP が必要です。

準備する

1 **Windows® Messengerを設定する**

- あらかじめ Hot M ail に登録しアドレスを取得しておきます。Windows® Messengerを立ち上げ、自分のアドレスなどを登録してください。詳しくは、Windows® Messengerのヘルプをご覧ください。

2 **ビデオカメラをパソコンにDVケーブルで接続し、ビデオカメラの電源ダイヤルを「撮影」または「Ⓜ」の位置に合わせる**

3 **Windows® Messengerの初期画面の「ツール」から「オーディオとビデオのチューニングウィザード」を開く**

4 **「JVC DV デバイス」を選択して「次へ」をクリックし、ビデオカメラからの画像が表示されることを確認する**

5 **「次へ」をクリックし、マイクの設定を「JVC DV デバイス」に、スピーカの設定をお使いのサウンドボードに設定する**

- マイクの設定を「JVC DV デバイス」に設定しているときは、「ヘッドホンを使用している」を選択できません。

6 **「次へ」をクリックし、スピーカー（ヘッドホン）を確認する**

- 「テスト」をクリックして、使用するスピーカー（ヘッドホン）から音が出てくることを確認します。

7 **「次へ」をクリックし、マイクの音量を調節する**

- ビデオのマイクに普通に話しかけて、緑色のバーが黄色の範囲に入る程度にマイクの音量を調整します。
- バーが振れないときは、「戻る」をクリックしてマイクの設定を再び調節します。それでもバーが振れないときは、手順2に戻り、ビデオカメラの電源を入れ直してください。

8 **「次へ」をクリックしてゆき、ウィザードを終了する**

ＴＶ電話する

1 **ビデオカメラをパソコンに DV ケーブルで接続し、ビデオカメラの電源ダイヤルを「撮影」または、「Ⓜ」の位置に合わせる**

2 **Hot M ail アドレスで Windows® Messenger サービスにサインインする**

- あらかじめ通話する相手のアドレスを調べて登録しておきます。登録方法については、Windows® Messenger のヘルプをご覧ください。

3 **Windows® Messenger 画面で、自分を含めてオンラインになっている人がいることを確認する**

- オンラインに自分以外に誰もいないときは、通話できません。

4 **通話したい相手をマウスの右ボタンでクリックする**

5 **「ビデオチャットの開始」をクリックする**

- 会話画面が表示され、相手の返答を待つ状態になります。
- 相手が「承諾」をクリックすると、TV 電話が始まります。



- マイクボリュームが 0 になっていると相手に音声が届きません。適正なボリュームに設定してください。

こんなときは

こんなとき	ご確認ください	参照
USB ケーブルを接続しても何も表示されない	• ビデオカメラに AC アダプターが接続され、電源が入っていることを確認してください。 • USB ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。 • 電源付きの USB ハブを使うか、パソコン本体の USB 端子に接続してください。 • Windows® が USB 端子を認識していない場合があります。コントロールパネルの「システム」のプロパティで、ユニバーサルシリアルバスコントローラを使用可能に設定してください。	**P.**15 **P.**45
ファイルをコピーまたは保存できない	• コピー先または保存先のドライブに十分な空き容量があることを確認してください。 • コピー先または保存先のドライブが書き込み禁止に設定されていないことを確認してください。 • コピー先または保存先に同じ名前のファイルがないか確認してください。 • 電源付きの USB ハブを使うか、パソコン本体の USB 端子に接続してください。	–
フォト・ナビゲーターに静止画を読み込めない	• 静止画データの形式によっては読み込めない場合があります。ほかの画像作成・加工ソフトでビットマップ形式または JPEG 形式に変換してください。 • フォト・ナビゲーターをインストールしたドライブに十分な空き容量があることを確認してください。	–
静止画がモザイク状になる	• 小さな画像を読み込んで拡大して表示すると、モザイク状になります。 • JPEG 品質を低く設定して保存または形式変更すると、モザイク状になります。	**P.**36
パソコンの色がおかしい	「ディスプレイ」のプロパティで 256 色以下に設定していると正常に表示されません。	–
ImageMixer のインストール中にエラーが発生した	図のエラー画面が表示された場合は、「OK」ボタンを押すとインストールを完了できます。 Windows Digital Rights Management Client Update Command line option syntax error. Type Command /? for Help. OK	**P.**14
ImageMixer で「メール添付」機能が動作しない	Outlook Express をお使いの場合は、Internet Explorer 5.5 以降へバージョンアップ（標準インストール）してください。 その他のメールソフトをお使いの場合は、P.33 をご覧ください。	**P.**33
ファイルの情報表示などに、正しい作成日が表示されない	撮影したときに作成日が入っていないファイルは、作成日が正しく表示されません。	**P.**55

五十音順索引

お問い合わせの際は

ご連絡していただきたい内容

電話またはEメールでお問い合わせの際は、下記内容をお伝えください。なお、Eメールの場合は、ビクターホームページからmailをクリックしてください。
《ビクターホームページ：http://www.jvc-victor.co.jp/》

品　名		**デジタルビデオカメラの同梱ソフトウェア**（デジタルビデオカメラの型名もお伝えください。）
故障の状況		
エラーメッセージの内容		
パソコン	メーカー名	
	機種名	□デスクトップ　□ノート
	CPU	
	OS	
	メモリ容量	MB
	ハードディスク空き容量	MB
お買い上げ日		年　月　日
お　名　前		
ご　住　所		
電 話 番 号		（　）　―
ファックス番号		（　）　―

ご質問の内容によっては回答までにお時間がかかることがありますので、あらかじめご了承ください。なお弊社（日本ビクター）では、ご使用のコンピュータについての基本的な操作方法、OS、他のアプリケーション、ドライバーの仕様やその動作に関する事項などについては、一切お答えできません。

ImageMixer に関するお問い合わせ先

ImageMixer のご使用方法、ご質問、ご相談につきましては、下記のユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

株式会社　ピクセラ　ユーザーサポートセンター

住所　〒590-0985　大阪府堺市戎島町 4-45-1 ポルタスセンタービル
Phone　072-224-0181
受付時間　10:00 〜 13:00、14:00 〜 17:00（年末年始、祝祭日、所定定休日を除く）
Fax　072-224-7177
受付時間　24 時間受付（返信は営業日となります）

メールでのサポートは行っておりません。ご質問や操作方法に関するお問い合わせは、ユーザーサポートセンターまでお電話か FAX にてご連絡ください。
ピクセラホームページ：http://www.pixela.co.jp/ImageMixer/





製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング**	本製品についての技術的なお問い合わせは **DVご相談窓口**
ビデオカメラの取扱説明書に記載されている「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**電話：(045)450-2770**

お買い物情報や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

東京　電話：(03) 5684-9311 **Fax：(03) 5684-9317** 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル	**大阪　電話：(06) 6765-4161** **Fax：(06) 6765-4891** 〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

ホームAVネットワークビジネスユニット
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地

DVX707K／600K／505K　0902HOV＊BS＊VP